



日向半切

伊勢紙子
五女酒酌酏物語上



~13
4407



A13
4407



正
月
者
月
正
月
者
月
正
月
者
月

正
月
者
月

正
月
者
月



人
正
月
者
月
正
月
者
月

共
正
月
者
月
正
月
者
月

正
月
者
月
正
月
者
月



おれはさきさきおれをせし
きり八何れも
おれはさきさき
おれはさきさき
おれはさきさき
おれはさきさき

あまがねのひとまが
あまがねのひとまが
あまがねのひとまが
あまがねのひとまが
あまがねのひとまが



あまがねのひとまが
あまがねのひとまが
あまがねのひとまが
あまがねのひとまが
あまがねのひとまが



あまがねのひとまが
あまがねのひとまが
あまがねのひとまが
あまがねのひとまが
あまがねのひとまが



あまがねのひとまが
あまがねのひとまが
あまがねのひとまが
あまがねのひとまが
あまがねのひとまが

あまがねのひとまが
あまがねのひとまが
あまがねのひとまが
あまがねのひとまが
あまがねのひとまが



其の川の音なり公月分ん
 まけん後天者野天の爪後のおい
 とそののどめも字音三三三
 とのるもこのやてるおん
 おいよよのいよおいよ
 づをさるるむむの時あり
 ちるむあかんいんあんこま
 あざりありと今も三川の
 又さるる産産も
 ちそれのさるる
 を神天であんまの
 う天世生せん人のみ
 さいしおまをありま
 きのこのりかんとあ
 ひしよ人のまああり
 そのまどあぬの
 向やびの
 かんぬん
 としは
 うりぬる
 せんのあおとら
 びやうとせんのお
 使きどうとのあり



右の
 おいびの
 わあとのわ
 ものまも
 水のらまも
 あうらり
 けいさる
 ありあり
 まさる
 のい
 はせう





いせ
か
子
日
半
切

五
夕
酒
酌
厨
物
語
中



め
め

福
内





さきくさか
 たらある
 昔あつた
 とるてい
 けりたあま
 へんきん
 こときん
 こときん
 こときん
 こときん

こときん
 こときん
 こときん

一
 一
 一
 一
 一







蛇は人の毒をもあがり
くさくさしたるをくさくさ
くさくさしたるをくさくさ
くさくさしたるをくさくさ

おれはあま
おれはあま

おれはあまのきりぎりす
おれはあまのきりぎりす
おれはあまのきりぎりす
おれはあまのきりぎりす

おれはあまのきりぎりす
おれはあまのきりぎりす



おれはあまのきりぎりす
おれはあまのきりぎりす
おれはあまのきりぎりす
おれはあまのきりぎりす

おれはあまのきりぎりす
おれはあまのきりぎりす
おれはあまのきりぎりす
おれはあまのきりぎりす

おれはあまのきりぎりす
おれはあまのきりぎりす

竹下紙
抄本
極
は

今
年
の
夏
は
早
く
終
る
と
思
は
れ
る

今
年
の
秋
は
早
く
終
る
と
思
は
れ
る

今
年
の
冬
は
早
く
終
る
と
思
は
れ
る

月
書
文

一
月
書
文

今
年
の
冬
は
早
く
終
る
と
思
は
れ
る

今
年
の
夏
は
早
く
終
る
と
思
は
れ
る

今
年
の
秋
は
早
く
終
る
と
思
は
れ
る



あまのついでとて
あまのついでとて

あまのついでとて
あまのついでとて
あまのついでとて
あまのついでとて
あまのついでとて
あまのついでとて

あまのついでとて
あまのついでとて
あまのついでとて
あまのついでとて
あまのついでとて
あまのついでとて

あまのついでとて
あまのついでとて
あまのついでとて
あまのついでとて
あまのついでとて
あまのついでとて



あつたが
さきさき
いそいでん
あつたが
あつたが
あつたが
あつたが
あつたが
あつたが
あつたが

あつたが
あつたが
あつたが
あつたが
あつたが
あつたが
あつたが
あつたが
あつたが
あつたが

あつたが
あつたが
あつたが
あつたが
あつたが
あつたが
あつたが
あつたが
あつたが
あつたが

あつたが
あつたが
あつたが
あつたが
あつたが
あつたが
あつたが
あつたが
あつたが
あつたが



あつたが
あつたが
あつたが
あつたが
あつたが
あつたが
あつたが
あつたが
あつたが
あつたが

あつたが
あつたが
あつたが
あつたが
あつたが
あつたが
あつたが
あつたが
あつたが
あつたが

あつたが
あつたが
あつたが
あつたが
あつたが
あつたが
あつたが
あつたが
あつたが
あつたが



いさめし
のたのむハ
仕休と
主人の
うのめと
おはせの
おはせの
おはせの
おはせの
おはせの
おはせの



いさめし
のたのむハ
仕休と
主人の
うのめと
おはせの
おはせの
おはせの
おはせの
おはせの
おはせの

おはせの
おはせの
おはせの
おはせの
おはせの
おはせの



三十一

...

...

...



...

...

...

Handwritten Japanese text in vertical columns, likely a calligraphic inscription or a list of names. The characters are written in a fluid, cursive style.



